

丹波篠山市立今田中学校 学習・生活に関する学力向上プラン

(第3学年)

丹波篠山市学力・学習状況調査(以下「市調査」)及び全国学力・学習状況調査(以下「全国調査」)は、各教育委員会や各学校が児童生徒の学力や学習状況を把握し、学習指導や生活指導の改善等に役立てることを目的として実施されています。

本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことなどを踏まえつつ、結果をもとに授業改善等を行うため、「学習や生活に関する学力向上プラン」を作成しました。学力の定着状況をご理解いただき、子どもたちの学習や生活習慣の改善、学校の教育活動に対してご支援いただければありがたいと思います。

全国学力・学習状況調査、丹波篠山市生活習慣状況調査結果の概要

○国語科 全体的に、全国・兵庫県の平均より約10P 上回っているという結果でした。特に、記述式で答える問題や意見を書く問題に対しての解答率と正答率が高く、普段の学習より「書く」ということに対して抵抗なく取り組めており、自分の意見を書くことに慣れてきていると思われます。反面、昨年度同様「語彙力」と「話す聞く」の観点に課題がある結果となりました。

○数学科 全ての領域において、全国・兵庫県の平均より上回り、良好な結果となりました。特に、昨年度課題となっていた図形の領域においては約13P上回っており、図形の基礎的な知識が身についていると思われます。一方で、数学的に説明する問題では無回答率が高く、課題が見られました。

○英語科 書くことについては全国平均より約10P 上回っており、アウトプット(話すことや書くこと)を中心に普段の学習を進めている成果が見られます。聞くことについては全国平均より6ポイント低くなっています。全体的な内容を捉えることはできていますが、ある特定の場面(買い物や音声案内など)において、内容を聞き取ることに課題があることがわかります。

○生活状況調査 集団として、出会う人にあいさつをするなど規範意識に関わる問いに対する答えが、全国平均に対して約4P 高い値を示しており、社会や周囲に対する行動について、生徒はよりよい行動をしている実感をもっています。一方で、成功体験や自信に関する問いに対しての答えは、全国平均に対して約4P 低い値を示しています。昨年度の考察に上げた感謝の気持ちについて、家族・先生からの支えは値が高くなりましたが、逆に友だちからの支えが低くなりました。

課題および今後の学力・生活習慣向上方策

○国語科 漢字は知っていても、意味が分からず使っていたり、その言葉を日常生活で使えていなかったりするので、語句の意味調べや短文作りなど基礎的なことを繰り返し行っただけで、文章を書くときに意図的に使わせる工夫をしていきます。また、引き続き「自分の意見を書く」取り組みや「プレゼンテーション」など文章の構成を組み立てて、人前で発表する活動を取り入れていきたいと思っています。

○数学科 式を使って事柄が成り立つ理由を説明する問題は、苦手意識を持つ生徒も多く見られます。授業では、意欲的に取り組める課題を設定し、生徒同士で理由や根拠をもって説明する活動を通して説明する力を伸ばしていきたいと思っています。

○英語科 全体的な内容を聞き取る基礎力はあるので、その力をもとに特定の場面に限定して聞き取る練

習も取り入れていきます。また、2学期からは長文読解の練習も多く取り入れていきながら読む力も伸ばしていきたいと思います。

○生活状況調査 クラスの状況として、学級の規律は守られ、お互いに思いやりを持って接することができていますが、発信力にばらつきがある状態と分析できます。昨年度に続き、アサーショントレーニング等を行っていきます。また、自ら学ぶ意欲が少し低い生徒や生活習慣で睡眠時間に関してリスクが高い生徒がいます。進路の実現に向けて不安になる時期ですが、将来にわたって影響する心身を育てる大切な時期です。教育相談やフォーサイトノートを活用して生活習慣や学習習慣の改善を支援していきます。

保護者の皆様へ お知らせとお願い

本校では、今回の調査結果を生かして、お子様一人一人についての学習のあり方や生活習慣について、指導・支援方法を検証し、取り組みを充実していきます。

ご家庭におかれましても、子どもたちの家庭学習のあり方や生活習慣について、今一度、ご確認いただき支援をよろしくお願いいたします。

3年生はこれから進路選択・決定の時期を迎えます。ご家庭でもよく話し合ってください、子どもたちが、目標をもち前向きに取り組めることができるよう、ご家庭と学校がさらに連携していきたいと思います。ご協力をお願いいたします。